

(参考)世界の主な再処理施設

- 日本原子力研究開発機構(JAEA)東海研究開発センター東海再処理施設
 ……約25年の稼働実績、1,133トンの再処理実績あり(2007年3月現在)。
 ○海外においては、**7か国19施設***で稼働実績あり。
 主要国では、英国で41年、仏国で15年、ロシアでは34年の実績。

※既存施設を改造したものは、新規施設として扱ったもの。

世界の主な再処理施設

| | 施 設 | 処理能力 (対象燃料) | 操業開始 | 備 考 |
|-----|-------------------------------|-----------------------------|-------|--|
| 日本 | JAEA 東海研究開発センター 東海再処理施設 | 120tU/年 (濃縮ウラン) | 1981年 | ○1981年の本格操業以来、約25年間 運転を継続 ○累積処理量は2007年3月現在、 1,133tU |
| 英国 | B205 | 1,500tU/年 (天然ウラン) | 1964年 | ○ガス炉からの使用済燃料を再処理する 施設 |
| | THORP | 850tU/年 (濃縮ウラン) | 1994年 | ○ドイツ・日本等海外顧客の使用済燃料の 再処理を実施 |
| 仏国 | UP2-800 | 各1,000tU/年 (濃縮ウラン) | 1994年 | ○1976年に操業を開始したUP2-400 を增強 |
| | UP3 | (ただし、2機あわせて 1,700tU/年以下) | 1990年 | ○日本等、主に海外顧客の使用済燃料の 再処理を実施 |
| ロシア | RT-1 | 400tU/年 (濃縮ウラン) | 1971年 | |

【出典：電機新聞「原子力ポケットブック2006年度版」、日本原子力研究開発機構HP、原子力委員会策定会議資料】